

平成18年度 定期作況報告

(8月20日現在)

北海道立畜産試験場

新得本場

I 気象概況

7月下旬：気温は平年比-3.1℃でかなり低かった。降水量は平年比17%でかなり少なかった。日照時間は平年比86%で平年並みだった。

8月上旬：気温は平年比+3.1℃でかなり高かった。降水量は平年比22%でかなり少なかった。日照時間は平年比186%でかなり多かった。

8月中旬：気温は平年比+4.0℃でかなり高かった。降水量は18日から19日にかけての集中的な降雨(180mm)の影響で平年比425%とかなり多かった。日照時間は平年比55%でかなり少なかった。

以上本期間の気象は、気温は7月が低かったものの8月はかなり高くなった。降水量は少なく推移したものの8月18日から19日にかけての集中的な降雨により、合計するとかなり多くなった。日照時間は周期的に変化し、期間合計では平年並みだった。

	7月下旬			8月上旬			8月中旬		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温(℃)	16.5	19.6	△3.1	23.5	20.4	3.1	22.7	18.7	4.0
最高気温(℃)	19.9	24.2	△4.3	29.0	24.5	4.5	26.0	23.0	3.0
最低気温(℃)	13.2	16.2	△3.0	18.2	16.7	1.5	20.0	15.2	4.8
降水量(mm)	8.0	47.4	△39.4	15.5	69.9	△54.4	198.5	46.7	151.8
降水日数(日)	5	5.3	△0.3	2	5.3	△3.3	6	3.9	2.1
日照時間(時間)	36.5	42.4	△5.9	56.1	30.1	26.0	17.3	31.3	△14.0

注1. 各数値は旬の平均または合計。△印は減を示す。

注2. 平年値は前10か年の平均値。ただし、平成11年11月気象システムを更新移設したため、気温の平年値については新旧データから回帰式を作成し、旧システムでの平年値を補正して用いた。その他の項目は従来のシステムでの値をそのまま用いた。

注3. 8月上旬、中旬については、気象観測システムの不具合により新得町のアメダスデータの本年値および平年値を採用した。

Ⅱ：作況

1. 牧草

(1) チモシー・アカクローバ混播（採草型）

作況： 2番草 やや良
3番草 やや不良

事由

2番草：収穫は1番草が遅れた影響で平年より7日遅い8月17日となった。草丈はチモシー、アカクローバとも平年並みであったが、乾物収量の平年比は、109%とやや高く、作況はやや良であった。

3番草：2番草の刈り取り後3日目のため、再生草が伸びてなく、草丈は観測されなかった。平年のチモシー草丈が28cmであることを考慮すると、目下の作況はやや不良と判断される。

調査項目	3年目草地			
	本年	平年	比較	同比
2番草				
刈取月日(月・日)	8.17	8.10	7	
草丈 (cm)	TY	79	81	△2
	RC	69	68	△1
生草収量(kg/10a)	1314	1127	187	
乾物収量(kg/10a)：2番草	235	216	19	116
1～2番草通算	797	790	7	101
マメ科率(生草%)	4.1	8.1	△4.0	
3番草				
草丈 (cm)	TY	—	28	—
	RC	—	19	—

注1. TYはチモシー「センポク」、RCはアカクローバ「サッポロ」の略である。

注2. 平年値は、前7か年中、平成10年（豊）、平成12年（凶）を除いた5か年の平均値。

注3. △印は減または早を示す。

2) オーチャードグラス・ラジノクローバ混播（放牧型）

作況： 3番草 並
4番草 並

事由：

3番草：草丈、乾物収量とも平年並みであった。

4番草：8月20日現在のオーチャードグラスの草丈はほぼ平年並である。

調査項目	3年目草地				
		本年	平年	比較	同比
3番草					
刈取月日(月・日)		9.1	8.30		2
草丈 (cm)	OG	63	63		0
	WC	—	36		—
生草収量(kg/10a)		975	1059	△84	92
乾物収量(kg/10a) : 2番草		175	175		0
1～3番草通算		613	602		11
マメ科率(生草%)		0	11.2	△11.2	
4番草					
草丈 (cm)	OG	50	48		2
	WC	—	22		—

注1. OGはホーチクトグラス「キタドリ」、WCはシロクローバ「カリフォルニアジン」の略である。

注2. 平年値は、前7か年中、平成11年(豊)、平成15年(凶)を除いた5か年の平均値。

注3. △印は減または早を示す。

2. とうもろこし

作況：並

事由

抽糸期は平年より「ワセホマレ」が4日、「オーロラ82」が2日それぞれ遅れた。稈長、葉数はほぼ平年並であった。抽糸期以降の気温はかなり高く経過しており、雌穂の登熟は順調に進んでいると予想される。以上から、目下の作況は平年並み判断される。

項目	ワセホマレ			オーロラ82		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
抽雄期(月日)	8.4	7.27	△7	8.6	8.2	△4
抽糸期(月日)	8.7	8.2	△5	8.8	8.6	△2
稈長 (cm)	188	193	△5	209	214	△5
葉数 (枚)	14.4	14.4	0	17.3	16.9	0.4

注1. 平年値の「ワセホマレ」は前7か年中、平成16年(豊)、平成14年(凶)を除いた5か年の平均値、「オーロラ82」は前5か年の平均値。

注2. △印は減を示す。

滝川試験地

I 気象概況

7月下旬

気温は平年比 -1.9°C で低かった。とくに最低気温が平年に比較し -2.8°C と極めて低かった。降水量は皆無であった。日照時間は平年比186%で極めて多かった。

8月上旬

気温は平年比 $+2.4^{\circ}\text{C}$ で高かった。4日の夏日と4日の真夏日を記録した。降水量は平年比17%で極めて少なかった。日照時間は平年比148%で多かった。

8月中旬

気温は平年比 $+3.9^{\circ}\text{C}$ で極めて高かった。8日の夏日と1日の真夏日を記録した。降水量は平年比223%で極めて多かった。日照時間は平年比77%でやや少なかった。

以上本期間の気象は、7月下旬の低温・寡雨・多照、8月上旬の高温・寡雨・多照、8月中旬の高温・多雨が特徴的であった。

	7月下旬			8月上旬			8月中旬		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温 ($^{\circ}\text{C}$)	19.9	21.8	$\triangle 1.9$	24.1	21.7	2.4	24.5	20.6	3.9
最高気温 ($^{\circ}\text{C}$)	24.7	25.9	$\triangle 1.2$	28.7	25.6	3.1	28.2	25.1	3.1
最低気温 ($^{\circ}\text{C}$)	15.0	17.8	$\triangle 2.8$	19.4	17.8	1.6	20.7	16.1	4.6
降水量(mm)	0	56	$\triangle 56$	9	54	$\triangle 45$	49	22	27
降水日数(日)	0	5	$\triangle 5$	1	4	$\triangle 3$	4	3	1
日照時間(時間)	82.8	44.4	38.4	63.0	42.5	20.5	39.7	51.7	$\triangle 12.0$

注1. 滝川地域気象観測所のAMeDAS観測値。

注2. 日照時間は太陽電池式日照計(新型)による。

注3. 平年値は前10か年の平均値。

注4. \triangle 印は減を示す。

II. 作況

1. 牧草

1) オーチャードグラス・アカクローバ混播（採草型） 作況：3番草 やや不良
事由

3番草：7月下旬、8月上旬の降水量が少なかったことにより生育は停滞した。オーチャードグラス、アカクローバの草丈は平年より低かった。総じて作況はやや不良である。

調査項目		3年目草地		
		本年	平年	比較
3番草				
草丈 (cm)	OG	34	36	△2
	RC	20	27	△7

注1. OGはオーチャードグラス「キタミドリ」、RCはアカクローバ「サッポロ」の略である。

注2. 平年値は、前7か年中、平成14年（豊）、平成12（凶）を除いた5か年の平均値。

注3. △印は減または早を示す。

2) チモシー・アカクローバ混播（採草型） 作況：2番草 良
3番草 並

事由

2番草：1番草（6/19）刈り取り後、比較的順調な気象が続いたことによりチモシー、アカクローバの生育は順調であった。チモシーの草丈は平年を上回った。生草収量は平年の109%、乾物収量は平年の118%であった。作況は良である。

3番草：チモシー、アカクローバの草丈は平年とほぼ同等であった。3番草の作況は平年並である。

調査項目		3年目草地			
		本年	平年	比較	同比
2番草					
刈取月日(月日)		8. 4	8. 5	△1	
草丈 (cm)	TY	75	61	14	
	RC	46	51	△4	
生草収量(kg/10a)		1014	928	86	109
乾物収量(kg/10a)		230	195	35	118
1～2番草通算		808	778	30	104
マメ科率(乾物%)		15.7	18.4	△2.7	
3番草					
草丈 (cm)	TY	18	20	△2	
	RC	18	17	1	

注1. TYはチモシー「センボク」、RCはアカクローバ「サッポロ」の略

注2. 平年値は、前7か年中、平成14年（豊）、平成12（凶）を除いた5か年の平均値。

注3. △印は減または早を示す。

3) オーチャードグラス・シロクローバ混播(放牧型)

4 番草： 並

事由：

4 番草：7月下旬、8月上旬の降水量が少なかったが生育はほぼ順調であった。オーチャードグラス、シロクローバの草丈はほぼ平年並みであった。生草収量は平年の109%、乾物収量は平年の98%であった。作況は平年並である。

調査項目	3年目草地			
	本年	平年	比較	同比
4 番草				
刈取月日(月・日)	8.17	8.19	△2	
草丈 (cm)				
OG	38	40	△2	
WC	21	23	△2	
生草収量(kg/10a)	579	533	46	109
乾物収量(kg/10a)	123	125	△2	98
1～4 番草通算	671	660	11	102
マメ科率(乾物%)	5.2	8.4	△3.2	

注1. OGはオーチャードグラス「キタミドリ」、WCはシロクローバ「カリフォルニアラジノ」の略である。

注2. 平年値は、前7か年中、平成14年(豊)、平成12(凶)を除いた5か年の平均値。

注3. △印は減または早を示す。

2. とうもろこし

作況 並

事由：7月下旬から8月上旬の好天によりとうもろこしは引き続き順調に生育した。稈長、葉数はほぼ平年並であった。抽雄期は平年より1日遅く、抽糸期は平年並みであった。作況は平年並である。

項目	本年	平年	比較
抽雄期(月日)	8.8	8.7	1
抽糸期(月日)	8.10	8.10	0
稈長(cm)	254	258	△4
葉数(枚)	18.2	18.1	0.1

注1. 平年値は、前6か年中、平成16年の異常年(播種期の遅れ)を除く前5か年の平均値。

注2. △印は減または早を示す

注3. 供試品種は「3845」